



平成 28 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 東 祥
代表者名 代表取締役社長（CEO） 杓名 俊裕
（コード：8920 東証・名証第一部）
問合せ先 常務取締役管理部長（CFO） 桑添直哉
（TEL. 0566-79-3111）

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

平成 27 年 5 月 21 日に発表いたしました平成 30 年 3 月期を最終年度とする 3 ヶ年中期経営計画について、平成 28 年 3 月期の実績を踏まえ、下記のとおり見直すことを決定いたしましたので、お知らせ致します。

記

1. 中期経営計画初年度（平成 28 年 3 月期）の計画と実績の概要

平成 28 年 3 月期（初年度）における当初計画と実績は次のとおりであります。

	平成 28 年 3 月期 (当初計画)	平成 28 年 3 月期 (実績)	差 額
売上高（百万円）	18,200	19,224	+1,024
成長率（前期比）	+7.8%	+13.8%	+6.0P
経常利益（百万円）	4,700	5,380	680
成長率（前期比）	+11.8%	+28.0%	+16.2P
経常利益率	25.8%	28.0%	+2.2P
EPS（円）	136.78	164.79	+28.0
ROE	17.0%	17.9%	+0.9P
設備投資予定額（百万円）	2,500	3,880	+1,380
スポーツクラブ新規出店計画	3 店	2 店	△1 店
ホテル新規出店計画	3 店	2 店	△1 店
賃貸マンション新規開発計画 (不動産事業)	35 室	35 室	—

【要因】

主力事業であるスポーツクラブ事業においては、既存 60 店舗の年間平均会員数が前年度と比較して 3.3%増加したことにより、売上高は当初計画値を上回りました。また、原油価格等の低下による水道光熱費の減少並びに出店数が当初計画を下回ったことによる開発経費の減少等により、コスト面においては当初計画数値を下回りました。ホテル事業においても、訪日外国人増加の影響もあり宿泊稼働率が高稼働で維持されており、客室単価も上昇いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「平成 28 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照下さい。

2. 中期経営計画の変更ポイント

中期経営計画最終年度の主要経営指標目標につきましては、初年度の実績を踏まえ、次のとおり見直しを行いました。

- ◆ 最終年度(平成 30 年 3 月期)の主要経営指標目標

売上高	235 億円	(当初計画値 + 15 億円)
経常利益	64 億円	(当初計画値 + 7 億円)
経常利益率	27.2%	(当初計画値 + 1.3P)
EPS	194 円	(当初計画値 + 27 円)
ROE	19.0%	(当初計画値 + 1P)
- ◆ 自己資本比率目標 : 50%以上
- ◆ 配当金については、利益に応じ株主還元を実施してまいります。
(平成 28 年 3 月期の配当に関しましては、6 期連続の増配予定であります。)

<主要経営指標計画>

	平成 28 年 3 月期 (実績)	平成 29 年 3 月期 (計画)	平成 30 年 3 月期 (計画)
売上高(百万円)	19,224	20,700	23,500
成長率(前期比)	+13.8%	+7.7%	+13.5%
経常利益(百万円)	5,380	5,720	6,400
成長率(前期比)	+28.0%	+6.3%	+11.9%
経常利益率	28.0%	27.6%	27.2%
EPS(円)	164.79	173.86	194.52
ROE	17.9%	18.0%	19.0%
設備投資予定額(百万円)	3,880	5,000	7,000
スポーツクラブ新規出店計画	2 店	5 店	10 店
ホテル新規出店計画	2 店	3 店	5 店
賃貸マンション新規開発計画 (不動産事業)	35 室	200 室	300 室

以上